



評価の観点と質問項目

他者やグループとの関係性評価

- チームメンバーとしての自覚や責任を意識して考え行動した（シチズンシップ）
- 自分が主張したい意見を相手にきちんと伝えることができた（話す態度）
- 相手の意見に判断・評価や先入観を持たずに聴くことができた（聴く態度）
- プレゼンテーション資料作成力がアップした（テキストベースのプレゼン能力）
- 口頭でのプレゼン力がアップした外向けプレゼンテーション力（オーラルベースのプレゼン能力）
- 他者とのコミュニケーションや学び合いを行った（コミュニケーション力、協働、協調）
- 意識的な知の共有を意識した活動ができた（共有知・集合知）
- チームの雰囲気づくりに貢献（雰囲気づくりへの貢献）
- 場のファシリテーションがうまくできた（ファシリテーション能力）
- チームの創造性に貢献した（創造性）
- チームリーダーとしてふるまったり貢献できた（リーダーシップ）
- チームのフォロワーとしてチームメンバーをうまくフォローした（フォロワーシップ）
- 他人に対して心を開いて活動した（他者へのオープンマインド）
- 他人に対して思いやりのある行動で接することができた（思いやり）
- 他者との葛藤があっても避けずにうまく処理できた（葛藤の処理）
- メンバーの多様性や文化的な違いを理解し受け入れることができた（異文化理解と適応）
- 地域とグローバルでよき市民としての素質を得た（シチズンシップ）
- チームにおける個人の責任および全体の責任という自覚がついた（個人の責任と全体の責任）
- 学習を通じて自分のキャリアについて考察できた（キャリア認識）

個人としての（自己内）評価

- 学ぶ意味や意義を理解しながら学習できた（学ぶ目的把握）
- 学ぶための環境整備につとめた（学ぶ環境整備）
- 情報を精査し、信頼できる知識として取得する能力が高まった（情報受信能力）
- 受け取った知識の理解に勤めた（知識の理解）
- 必要な知識をうまく取り込み、編集できた（キュレーション能力）
- 取得知識を論理的、分析的な能力を使って応用できた（論理力・分析力・統合力）
- 情報を鵜呑みにすることなく、批判的な思考ができた（批判的思考力）
- 従来からの発想を脱して、創造的な思考ができた（創造力、クリエイティビティ）
- 全体性から大局的に問題・課題をつかめた（システム思考・大局感）
- 問題解決ツールが理解でき、使えた（問題解決力）
- 受け身の姿勢に終始せず、問題発見や問題提示を行った（問題発見）
- 語彙力、文章構成力が高まった（言語技術・表現能力）
- 絵や写真、図解などを使った表現力が高まった（非言語技術・表現能力）
- 自分自身を振り返ったり、客観視することができた（メタ認知能力）
- 活動中は探求する姿勢をもって活動できた（探求の姿勢）
- 活動中は集中し、信念を持って活動した（集中と信念）
- 硬直化せずに柔軟な思考・行動ができた（柔軟な思考とレジリアンス）
- 自分自身の気持ちに忠実に、心を開いて活動できた（自分自身へのオープンマインド）
- IT機器やツールの活用ができた（ITリテラシー）
- IT機器に頼らずとも表現できた（IT以外のリテラシー）
- メディアの持つ特徴を理解し、モラルを意識して活動できた（メディアリテラシー・情報モラル）
- 計画的に時間を意識して活動した（時間管理能力）

マルチプルインテリジェンスという観点からの評価

- 言語的知能
- 数学論理的知能
- 空間的・視覚的知能
- 身体的・運動的知能
- リズム・音楽的知能
- 対人関係の知能
- 内観の知能
- 自然・環境の知能